

ふつうの言葉で語りかけよう

総選挙最終日、東京のある駅前で圧倒的に多くの市民が「早苗ちゃん」で集まっていた。その選挙が終わって1か月になろうとしています。自民党が衆院で単独三分の二を獲得し、中道は惨敗、リベラル左派は大きく後退となり、今後日本の在り方を考えさせられている今の状況です。みなさんは何を想像されますか。高市政権は圧倒的多数を背景に「国論を二分するような大胆な政策」を実行すると明言しています。すなわち、外国人規制強化、殺傷力ある武器輸出拡大、安保三文書の改訂、国家情報局の設置、スパイ防止法の制定、憲法9条の改正などが考えられます。

「国論の二分」それは戦争への道へ進んでいくのか、そして投票日数日前に発表された、吉永小百合さんのメッセージ「核兵器の廃絶と世界の平和を求めてみんなのできる限りの行動をしていきましょう」にあるように平和で安全な道を選択するのか、私にはいわゆる「さなえ化」の道か「さゆり化」への道のように思われます。「平和な街西神」を掲げている私たちは平和な道以外考えられません。おそらく高市政権は、国民投票実施も含めて SNS を始めとして多様な手段で憲法改正へ突き進んでいくでしょう。私たちには、一人一人の市民との対話以外それに向き合っていく道はないだろうと思います。ひとつ提案です。さて今この時に、私たちの9条の会の活動はじめ、平和・市民運動を市民目線でどう歩んできたのか、間違いや独善はなかつただろうかと振り返ってみませんか。そしてそのうえで市民との対話を始めていきましょう。エッセイストの清繭子（きよしまゆこ）さんが小学生の息子さんに「ママ、戦争止めてくるわ」と言って期日前投票に出かけたことをXに投稿したところ、SNS上の反応は早く、瞬く間に拡散され、「#ママ、戦争止めてくるわ」が一時、国内の「トレンド1位」になったそうです。

ママを俺、僕、おばあちゃん、等に置き換えて普通の言葉をいつまでももやし続けて、市民に語りかけていきましょう。
(竹の台 たけし)



◆3月のつどい 3月15日(日)

「スパイ防止法とは」

講師 近藤暢朗弁護士

西区文化センター2階第1会議室

14:00~16:00 参加費 300円

※詳しくはチラシをご覧ください

◆4月のつどいはありません

◆20周年 第18回記念のつどい

5月16日(土) 13:30開演

西区文化センター なでしこホール

チケット 1000円(当日券 1200円)

講演 伊藤千尋さん(ジャーナリスト)

「李亜輝&アジサイ合奏団」(二胡の演奏)

※裏面に伊藤千尋さんの紹介があります



Act Now 1(イチ)の日行動にご参加を!

★毎月一回、西神中央駅前で「改憲 No! 九条 壊すな!」のアピール行動を続けています

★次回は 2026年4月1日(水) 16:00~17:00

「世界の平和と日本の平和」

(伊藤千尋さん)の講演を聞いて

2月22日、尼崎市中小企業センターでの近畿ブロック母親運動学習会に参加し、伊藤千尋さんの講演を聞いた。

伊藤さんは朝日新聞の特派員として世界中取材し、1989年11月のベルリンの壁の崩壊時や2001年9.11のテロ事件の時には現場で取材した。

講演の概要は・・・イスラエル、ロシア、米国のように法を無視し、暴力に満ちた世界になってきた。また急速に軍事化する今の日本。「攻められたらどうする？」は人びとを戦争に導く誘導尋問。南極を地球共有の平和の地にしたのは日本国憲法前文の力。平和国家コスタリカのこと。世界は変えられる。一人一人の家から、隣の家へ平和を訴え、広げよう！・・・。世界の話が多くあり、分かり易い話し方で、1時間30分はあっという間に過ぎた。

興味深かったのはコスタリカ。中南米のパナマの西隣、面積は日本の1/7、人口は500万人。「教育予算が国家予算に占める割合は、世界平均が4.4%に対し6.9%である。憲法で軍隊不保持」(Wiki)。幼稚園から高校まで義務教育で無償。

2017年の核兵器禁止条約の提案国で議長国でもあった。軍隊のない国が世界平和を訴えるのは国の責務とのこと。

伊藤さんの話は、私に、「日本の厳しい現状に目を奪われず、世界を見渡せば、確実に平和への道に進んでいる。日本国憲法の力が世界平和に寄与している。諦めずに進もう！」と勇気づけてくれた。5月の記念のつどいも皆さんの期待にそうものと思う。(島田)

2月のつどい

総会の報告

2月15日、「西神ニュータウン9条の会」の総会が開かれました。2025年会計報告・会計監査報告、2025年活動の総括と2026年活動の方針が提案され、議論の後に承認されました。

2月の総選挙で、改憲勢力が衆議院で2/3を超え、「戦争をする国づくり」に対する対抗軸が弱体化する中、市民運動の重要性が増していること、世界的には市民運動が政治を動かしている例が多く見られることが強調されました。世論調査でも、9条に関しては改憲に反対の国民が過半数であること、9条に自衛隊を明記することが危険であるかがあらためて指摘されました。残念ながら、私たちニュータウン9条の会の活動(ホームページ、ニュースなど)はまだまだ広がり不足、いかに広げていくかが課題になります。

「総会」の後半は、全国で76番目の「9条の碑」を昨年12月に建てた、尼崎医療生協の宮本さんから、建碑までの経緯・難しさなどの話をお聞きしました。成功の重要な因子は、組織づくりと学習だと話されました。初めは「なぜ9条の碑なのか？」という疑問があったものを、伊藤千尋さんの学習会を開くなどして理解を深めていったそうです。今後は、碑を建てて終わりではなく、まだ関心の低い多くの市民に9条の大切さを広げていく活動が重要だと話されました。参加されていた神戸医療生協の方も、神戸でも9条の碑を建てるアイデアはあるとのことでしたから、私たち9条の会も含めた本当に広い市民の運動としていくことができれば良いと感じました。<参加者22名> (榎野台 KH)



ジョー句



お題「踏む」

軍拡で 踏んだり蹴ったり 生活苦 (空耳)

自由題

死者たちも 票を入れたし 戦争放棄 (現妻)

グラスの氷 愚痴とため息 聞いて消え (伝伝)

4月のお題は「風」

y-onishi@live.jp

投句をお待ちしています。

2026年3月発行：西神ニュータウン9条の会

[HP] <http://www.ne.jp/asahi/seishin/9jyonokai>

[連絡先] TEL 090-3359-0776(大西)



HPへリンク